

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

(パブリック向けウォシュレット一体形便器  
TCF951・952・953・954 用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

### 2. 連立トイレの配置例

**\* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、特1～特6で切り替えてください。  
理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。**

正 規 品	(タ イ プ 1 )	(タ イ プ 2 )	正 規 品	(タ イ プ 1 )	(タ イ プ 2 )
(タ イ プ 3 )	(タ イ プ 4 )	(タ イ プ 5 )	(タ イ プ 3 )	(タ イ プ 4 )	(タ イ プ 5 )

### 3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

#### <<本体側の設定方法>>

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

**1** 本体操作部の を10秒以上押し続ける  
 ⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

《下図は例です》

■ 運転	■ 便座	■ 運転	■ 便座	■ 運転	■ 便座
■ 温水	■ 節電	■ 温水	■ 節電	□ 温水	□ 節電

緑色点灯  
 運転・節電 → 橙色点灯  
 便座・温水

この間**5秒**

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください。

**2** を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)しているうちに、  
 すぐに を5秒以上押す。  
 5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

**3** ※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。  
 を押したまま、 を押す。  
 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。  
 \* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。  
 理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため

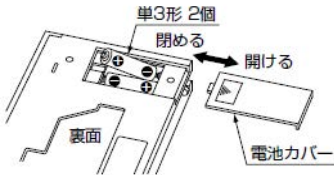
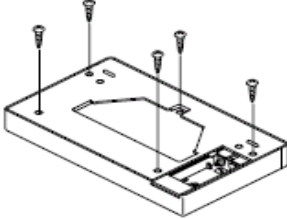
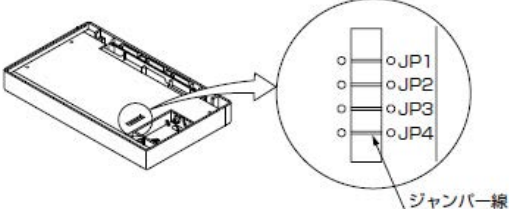
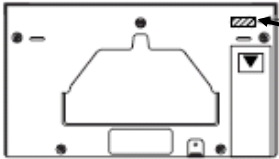
設定コード	●…緑点灯 ×…消灯									
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

**4** ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。  
 から手を離れた時点で設定したコードになる。

**5** ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

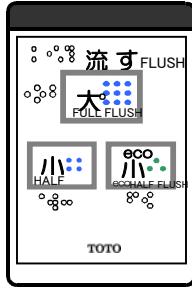
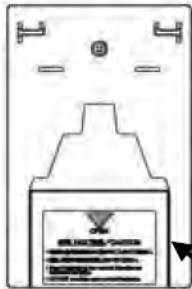
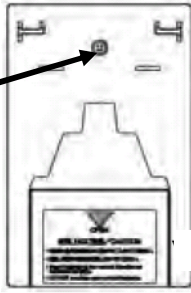
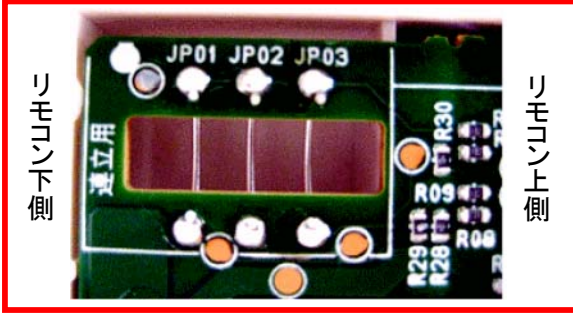
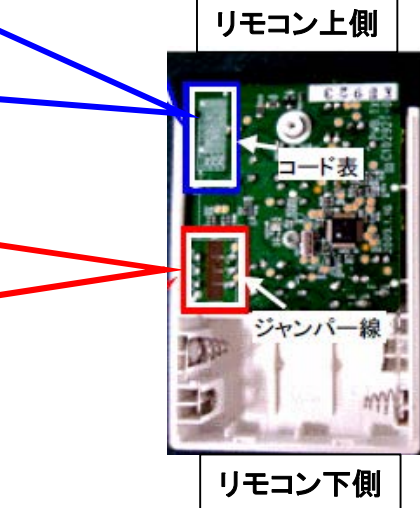
## &lt;&lt;リモコン側(ウォシュレットリモコンの場合)の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、リモコン本体のランプが消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p><b>ご注意!!</b> ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p><b>* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。 理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため</b></p> <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" data-bbox="209 1162 1002 1364"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7*</th> <th>特8*</th> <th>特9*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。








※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



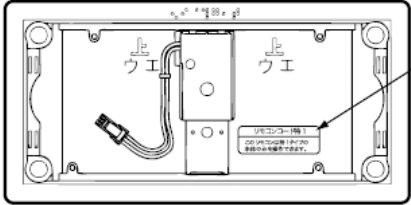
<<リモコン側(便器洗浄用リモコン)の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																												
<p>1</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div data-bbox="199 369 778 504" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="922 185 1114 472" style="text-align: center;">  <p>《表側》</p> </div> <div data-bbox="1153 185 1345 472" style="text-align: center;">  <p>《裏側》</p> </div> <div data-bbox="1345 472 1449 504" style="text-align: left;"> <p>電池カバー</p> </div> </div>																																																												
<p>2</p>	<p>リモコン裏面の固定ねじ1本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>固定ねじ</p> </div>																																																												
<p>3</p>	<p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="199 1010 879 1323" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="10">標:標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3</td> </tr> <tr> <td>コード</td> <td>標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JP01</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JP02</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JP03</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="10">○:つながったまま 切:切断</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="911 907 1476 1167" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。</li> <li>◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</li> <li>◎リモコン基板の方向は、左画像とは異なりますのでご注意ください。</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="240 1355 815 1668" style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  <p>リモコン下側</p> </div> <div data-bbox="911 1176 1332 1682" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  <p>リモコン上側</p> <p>コード表</p> <p>ジャンパー線</p> <p>リモコン下側</p> </div> </div> </div>	標:標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3										コード	標	1	2	3	4	5	6	標		JP01	○	切	○	切	○	切	○	切		JP02	○	○	切	切	○	○	切	切		JP03	○	○	○	○	切	切	切	切		○:つながったまま 切:切断									
標:標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3																																																													
コード	標	1	2	3	4	5	6	標																																																					
JP01	○	切	○	切	○	切	○	切																																																					
JP02	○	○	切	切	○	○	切	切																																																					
JP03	○	○	○	○	切	切	切	切																																																					
○:つながったまま 切:切断																																																													
<p>4</p>	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																												
<p>5</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <div style="margin-left: 200px;"> <p>例</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> </div>																																																												

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

<<リモコン側(埋込リモコンの場合)の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																																		
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>【補足】</b> タッチスイッチの連立設定は不要です。</p> </div> </div>																																																																			
1	<p>リモコンの <b>止 STOP</b> と <b>おしり SPRAY</b> を10秒以上押し続ける</p>  <p>⇒10秒後にリモコンの水勢ランプが<b>2秒間</b>点灯します。</p>  <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>約10秒後に特殊(設定)モードになり、水勢ランプが下記のようにになります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>スイッチを押し続けると、約10秒後に水勢ランプが全点灯</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: pink;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>スイッチから手を離すと、水勢ランプが全点滅します。</p> </div> </div> </div>																																																																		
2	<p>リモコンの水勢ランプが点滅(2秒間)しているうちに、 <b>すぐに</b> <b>ビデ BIDET</b> を5秒以上押す。</p>  <p>5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。</p>  <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p><b>全点滅</b></p> </div>																																																																		
3	<p>リモコンの水勢 <b>+</b> を押す度に 標準→特1→特2…特9→標準 と設定が切り替わります。</p>  <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">水勢 WATER PRESSURE</p>  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設定コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップ5</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ4</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ステップ3</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ2</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ1</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">◎…点灯 ×…消灯</p> </div>	設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×	ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																									
ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																									
ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎																																																									
ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×																																																									
ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×																																																									
ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎																																																									

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)	
4	<p>設定の切替が完了したら</p> <p>止 STOP</p> <p>リモコンの  を押す</p> <p>⇒設定完了です!!</p>	
5	<p>切替え後、リモコンをはずして、特殊コードラベルを フレームに貼り付けてください。 (リモコンは吸盤ではずしてください。)</p>	 <p>コードラベル</p>

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。